

令和2年度福岡県剣道選手権大会（第68回全日本剣道選手権大会出場選手予選会）兼国民体育大会剣道競技（成年男子）選手候補選考会実施要項

1. 日 時 令和2年6月28日(日)

受付時間 午前 8時30分～9時

試合開始（予定） 午前 10時15分

2. 会 場 福岡武道館（福岡市中央区大濠 1-1-1 Tel.092-714-1900）

3. 大会内容

(1) 開会式・日本剣道形・閉会式は行いません。

レプリカ贈呈・表彰（1位～4位）及び事務連絡は、試合終了後行います。

(2) 国民体育大会中堅、副将の出場者は福岡県剣道選手権へは出場できません。

(3) 令和2年度福岡県剣道選手権大会（第68回全日本剣道選手権大会出場選手予選会）

① 出場資格

・年齢は、満20歳以上とし、段位の制限はしない。（年齢計算は、令和2年11月2日を基準とし、平成12年11月2日以前に生まれた者）

・五段以上は本連盟の登録会員であること。四段以下は地域の剣道連盟に所属していること。

・予選会出場は一ヶ所とする、違反したものは出場を取り消す。

② 上位3名は全日本剣道選手権大会（11月3日・日本武道館）に出場する。

なお、本大会では第4位まで決定する。

(4) 令和2年度国民体育大会（成年男子・令和2年10月開催）選手候補選考会

① 出場資格

・中堅 昭和50年4月2日以降～昭和60年4月1日までに生まれた者。

（35歳以上～45歳未満）

・副将 昭和40年4月2日以降～昭和50年4月1日までに生まれた者。

（45歳以上～55歳未満）

② 選手候補選考基準

・先鋒（18歳以上～25歳未満・平成7年4月2日以降～平成14年4月1日までに生まれた者）

・次鋒（25歳以上～35歳未満・昭和60年4月2日以降～平成7年4月1日までに生まれた者）

福岡県剣道選手権大会の試合結果により、上位3名（先鋒・次鋒それぞれに該当する年齢）を選手候補（強化選手）に指定する。

・中堅（35歳以上～45歳未満）・副将（45歳以上～55歳未満）

中堅・副将それぞれの選考会結果により、上位3名を選手候補（強化選手）に指定する。

4. 注意事項

(1) 新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から発熱等（下記）の症状がみられる場合、大会出場は認めない。（当日入口で検温を行います）

発熱が 37.5℃以上ある者

咳、痰、強いだるさ、息切れなどある者

(2) 使用する竹刀は、全剣連の「竹刀の基準」を遵守すること。

大会当日、竹刀の計量・測定を実施いたします。

(3) 紅白目印（長さ 70 cm ・ 幅 5 cm）を持参すること。

(4) ウォーミングアップについては審判会議を競技場内で行う関係で十分な時間が確保できないことから、選手各自で調整すること。

5. 参加料 出場者 1 名につき 1,000 円 ※当日欠席者の参加料は返金いたしません。

6. 申込方法 所属地域剣道連盟に参加料とともに申し込むこと

7. 申込締切 所属地域剣道連盟が定めた期日

8. 申込先 所属地域剣道連盟

9. 試合・審判および試合方法

①試合は、全日本剣道連盟試合・審判規則並びに同細則にて行う。

試合は 5 分 3 本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行い、先に 1 本を取った者を勝ちとする。

なお、延長戦に入ってから試合時間は区切らずに行う。

選手権大会は、第一から第三試合場で 4 ブロックの組合せを行い、トーナメント方式で試合を行う。

国体成年男子選考会（中堅・副将）は、第四試合場で申込者数に応じてトーナメント又はリーグ戦方式で試合を行う。

②第一試合場から第三試合場各ブロックの 1 位 4 名でリーグ戦を行い順位を決定し、上位 3 名が福岡県代表選手として、来る 11 月 3 日（火・祝）日本武道館で開催される第 68 回全日本剣道選手権大会に出場する。（4 位の者は補欠とする）

③リーグ戦において勝数、総本数全て同数の場合は、再度リーグ戦を行い順位を決定する。又、同率順位の場合は、再度試合を行い順位を決定する。試合及び時間は上記と同じ。

10. 安全対策 出場選手は、各自十分健康管理に留意し本大会に参加すること。

出場選手に周知徹底をお願いします。

主催者において、大会実施中、傷害発生の場合は、看護師により応急措置を講じ、病院等で治療を受けられるよう手配する。この場合の治療費は自己負担とする。

なお、主催者は、大会中の選手の事故に対し、傷害保険に加入する。
選手は、健康保険証を持参のこと。

注：職業欄には、企業名、大学名、警察官、刑務官等と、明記のこと。

※各剣連の係員の人数は、係員派遣依頼文に記載しています。